

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	次世代がん研究戦略推進プロジェクト		担当部局庁	研究振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究振興戦略官付		研究振興戦略官 岡村 直子	
会計区分	一般会計		施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	がん対策基本法(平成18年法律第98号) 第2条第1項、第18条		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、第3次対がん10か年総合戦略(平成16年文部科学大臣及び厚生労働大臣決定)、がん対策推進基本計画(平成19年6月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>簡便、高精度かつ非侵襲な早期診断法や再発・転移を抑える画期的な治療法、革新的ながん根治療法等の次世代がん医療を実現するため、基礎から臨床へと継ぎ目無く研究をつなげることのできる仕組みを構築し、厳選した革新的な基礎研究の成果を、戦略的に育成することにより、平成27年度までに前臨床レベルでの有効性の確認等まで研究を押し進める。</p> <p>また、がんの薬物療法において、個人の遺伝的背景に配慮した副作用・効果の予測や診断を可能とする医療の実現に向けて、ファーマコゲノミクス研究の成果を臨床応用するための取組を行う。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	3,600	3,636	4,362
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	3,600	3,636	4,362
	執行額	-	-	3,620	-	-	
執行率(%)	-	-	100.6%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(27年度)
	前臨床もしくは臨床研究段階へ移行した有望なシーズの数	成果実績	件	-	-	-	39
		達成度	%	-	-	0%	-
	発表論文数	成果実績	件	-	-	154	-
当初見込み		( )		( )	(300)		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	-	活動実績	-	-	-	-	
			-	-	-	-	
単位当たりコスト	発表論文数1件あたりのコスト 23(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=事業に投入した費用/発表論文数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	科学技術試験研究委託費	3,633百万円	4,351.8百万円	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 3,462百万円			
	諸謝金	0.4百万円	1.5百万円	「がん対策推進基本計画」を踏まえた研究の推進に必要な経費の増			
	職員旅費	0.4百万円	2.1百万円				
	委員等旅費	1.3百万円	6.0百万円				
	庁費	0.0百万円	0.1百万円				
	計	3,636百万円	4,362百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、第4期科学技術基本計画及び日本再生の基本戦略等において重要事項として位置づけられているライフイノベーションの推進及びがん対策基本法に基づくがん対策推進基本計画の推進に資するものであり、健康大国の実現を目指し国が積極的に実施・推進する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は革新的ながん医療の実現を目指し、有望な基礎研究の成果を臨床応用に向けて効果的・効率的に育成しようとするものであり、文科省が指定した指定研究と、より広く全国から有望なシーズを募集した公募研究により構成されている。 研究課題の採択に際しては、外部の有識者による審査を経た上で決定している。また、課題公募においては、十分な広告期間を設け、HP等で周知した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。なお、委託費の交付決定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当事業は、効率的な研究推進を図るため、最先端・高性能の研究機器を導入し、それを運用できる拠点を定めて効率的かつ実効性の高い研究支援を行っている。 目標設定に際しては、総合科学技術会議と協議の上、具体的な数値目標を設定して事業を進めている。 同じくがん対策を推進している厚生労働省とは、研究課題の設定・採択において、共通の外部審査委員による審査を実施する等、研究領域の重複がないよう連携して事業を進めている。 事業初年度である平成23年度は研究基盤の整備が中心であったが、平成24年度以降は整備された支援基盤の活用により研究の進展が図られる見込みである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 -	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○明確な目標・計画に沿って国の委託事業として実施する政策課題対応型の研究開発であることから、成果報告書の提出、プログラム運営委員会等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について確認し、引き続き事業を着実に推進すべき。		
	○個々の課題の進捗や研究支援基盤の効率的な運用を管理するヘッドクォーター機関による、アドバイザーボードの意見も踏まえたプログラム全体のマネジメントにより、研究課題の効率的な推進に引き続き取り組む必要がある。ゲノム解析を実施する上での倫理問題対応や創薬候補物質に対する知財戦略についても引き続き取り組む必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、次世代のがん医療の実用化に向けて、がんについての基礎研究から得られた革新的なシーズを戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速するものである。</p> <p>2. 所見：本事業は平成23年度からの新規事業ではあるが、事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト削減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	事業の進捗状況等を踏まえ必要額を精査し、プログラム運営に係る人件費について見直しを行うことで、概算要求に▲20百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
事業のHP:「次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム」 <a href="http://p-direct.mext.go.jp/">http://p-direct.mext.go.jp/</a>			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0053

※平成23年度実績を記入

文部科学省  
3,620百万円

諸謝金等 1.5百万円  
職員旅費 0.3百万円  
委員等旅費 0.8百万円 } を含む

研究領域及び課題を選定し、マ  
ネジメントを実施

【随意契約・委託】

A. (公財)がん研究会・  
東京大学(全2機関)

(公財)がん研究会 80百万円	東京大学 20百万円
--------------------	---------------

プログラム全体の管理・運営  
(運営委員会の運営・管理、  
データベース構築と維持管  
理、広報活動、知財創出支  
援、倫理問題対応等)

【随意契約・委託】

B. 研究支援基盤運営機関  
大学等(全4機関)  
1,091百万円

シーズの効率的な育成を支  
援する研究支援基盤の運営  
管理

【随意契約、公募・委託】

C. 研究実施機関  
大学等(全142機関)  
1,626百万円

外部委員会の評価を経て、  
文部科学省が指定したがん  
研究有望シーズの臨床応用  
を目指した研究

【随意契約・委託】

D. (独)理化学研究所・  
東京大学(全2機関)

(独)理化学研究所 750百万円	東京大学 50百万円
---------------------	---------------

遺伝子解析、臨床研究、プ  
ロジェクトの総合的推進

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.(公財)がん研究会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	データベース用サーバー、ビデオ会議システム	24			
人件費	業務担当職員	17			
業務実施費	雑役務(HP開設、管理費等)	24			
	印刷製本費	5			
	会議開催費	1			
	その他(消耗品、消費税相当額)	2			
一般管理費		7			
計		80	計		0
B.(公財)がん研究会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	イメージングサイトメーター、シーケンサー他	397			
人件費	業務担当職員	19			
業務実施費	消耗品費(ゲノム解析試薬、組織培養実験類)	56			
	雑役務(抗体作成)	3			
	その他(消費税相当額)	1			
一般管理費		48			
計		524	計		0
C.東京大学			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	凍結切片作成装置、超低温フリーザー他	16			
業務実施費	消耗品(分子生物学試薬、実験動物等)	54			
	雑役務(遺伝子発現解析、メタボローム解析)	2			
	その他(国内旅費)	1			
一般管理費		7			
計		80	計		0
D.(独)理化学研究所			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	計算機サーバ、ストレージサーバ	10			
人件費	業務担当職員	30			
業務実施費	消耗品(理化学機材類、薬品類等)	59			
	雑役務(遺伝子型判定、臨床研究)	621			
	電子計算機諸費 等	4			
一般管理費		26			
計		750	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)がん研究会	プログラム全体の管理・運営(運営委員会の運営・管理、データベース構築と維持管理、広報活動、知財創出支援等)	80	随意契約	—
2	東京大学	倫理問題への対応に関する業務	20	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)がん研究会	次世代がん研究推進のためのシーズ育成支援基盤(分子標的ならびに化合物のPOC解析、検体処理、ゲノム解析)	524	随意契約	—
2	東京大学	がん臨床シーズ育成グループ研究事業における臨床検体のゲノミクス・エピゲノミクス解析支援	394	随意契約	—
3	(独)理化学研究所	革新的がん治療開発のためのハイスループットスクリーニング基盤、及び動物を用いた標的分子のPOC取得と阻害剤の薬効評価	160	随意契約	—
4	(独)産業技術総合研究所	天然物ライブラリーを用いた探索試験の実施	13	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	がん微小環境を標的とした革新的治療法の実現	80	随意契約	—
2	(公財)がん研究会	消化器がん及びリンパ腫の再発／転移に特徴的な遺伝子変異の同定及び検体収集業務	56	随意契約	—
3	独立行政法人科学技術振興機構	科学技術振興による研究開発の推進に関する支援業務	56	企画競争	—
4	京都大学	がん染色体・分裂期チェックポイントを標的とした治療法の確立	50	随意契約	—
5	(公財)がん研究会	TACC3を標的としたがん治療・予防法の開発及びがん分子標的治療薬シーズとしてのタンキラーゼ阻害剤の探索開発	45	随意契約	—
6	愛知県がんセンター	がんエピゲノム異常を標的とした治療・診断法の開発	40	随意契約	—
7	名古屋大学	早期診断マルチバイオマーカー開発	40	随意契約	—
8	慶応義塾	効果的な複合免疫療法の確立	40	随意契約	—
9	金沢大学	がん幹細胞を標的とした根治療法の開発	39	随意契約	—
10	(独)国立がん研究センター	エピゲノム発がんを標的とした診断・治療法の実用化、及びサンプル収集・臨床データ解析	31	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	遺伝子解析、臨床研究、プロジェクトの総合的推進	750	随意契約	—
2	東京大学	臨床研究データ、DNAの保管・管理、協力医療機関への業務支援等	50	随意契約	—